

編集人
千代田印刷人新世会
筒井尚亮

発行人
全国印刷緑友会
若山晃一



緑友たより

全国印刷緑友会 第17回総会

東京・日比谷松本楼
ホストグループ印刷同友会



第17回定期総会報告

全国印刷緑友会第17回総会は印刷同友会のホストで、昭和49年5月25日午後1時30分から東京・日比谷「松本楼」で開催された。以下はその内容と議事録である。

■ 常任幹事・飯田範夫氏の司会で、同水谷基也氏が開会を宣言、同渡辺守将氏の音頭で同会綱領を斉唱した。常任幹事・中津川泰三氏が開会の言葉を述べた。中津川氏は春闘の日程の繰り上げ石油ショック等で日程及場所が変更になったことを詫び、総会の持ち方について「従来は特定のホストグループが行っていたが、今年から常任幹事会が主催し、これをホストグループがお手伝いする形になった」と報告。そして総会后竹本次郎氏（東京都商工指導所主任指導員）の講演を聞くこと及びその内容の概略を紹介した。さらにホストグループから、参加者にダグラス・マクレガー著「総合と自己統制による経営」を贈ることにふれその内容の一端を紹介した。

■ 幹事長・若山晃一氏の挨拶

「会の運営をめぐる熱のこもった意見を交換してきました。しかし現下の経済情勢はあらゆる業種の不況、大幅賃上げ、過当競争などで大小を問わず困難な状況になってきました。こうした中でわれわれは青年印刷人として個人、地域、グループ単位で緑友の組織を生かして“何かできることがあるのではないか”ということを考えてゆきたいと思います。本日の総会をセレモニーだけに終らせたくない、私たちに何ができるかを考える総会にしたい、どんな小さなことでも良いからグループの代表としての皆さんの意見をちょうだいしたいと思います。今や緑友会の流れは変わりつつあります。遠くなる友、熱気をこめて参加して来る友というように組織の再編を検討する時期にきています。今後とも努力して一層仲間を増してゆきたいと思います。」

■ 司会者から参加グループの紹介

近況報告並びに緑友会に対する要望を語る。

1. 神戸印刷若人会

緑友会、若人会の原点にかえって地のついたところで活動したい。

2. 新潟印刷新世会

会員は小規模企業が多いので、肉体的にも精神的にもどうしたらゆとりがつかれるかを研究したい。

3. 長野青年印刷人緑友会

勉強会を主力にして会を運営してゆきたい。

4. 文京緑友会

会員が企業の第一線にいるので集りが悪い。とにかく集まろうということで月、何回かミーティングをやっている。

- 5.茨城緑友会
4月に従業員に参加してもらってボウリング大会を開催。
- 6.仙台刷親会
会員が若返りの傾向にある。情報が会員の末端まで速やかに伝わるよう努力している。
- 7.神奈川正和会
役員移動で混沌とした状態にある。今年は会員の若返りを目標にしたい。
- 8.下関青年印刷人緑友会
第17回全国大会を控えて準備と計画に邁進している。
- 9.岐阜翠陽クラブ
月定例会、旅行、研修等を行っている。予算が少ないので活動に制限がある。
- 10.北九州Y Pクラブ
月例会、リクリエーション、研修会等を行っている。問題点は工業組合との関係、会員の年令上のギャップ等である。
- 11.福島彩友会
自分たちのカラーを打ち出せないでいる。今日の総会でいろいろなものを汲みとってゆきたい。
- 12.山形印刷研修会
IGASには全員出席したい。
- 13.福岡印刷若葉会
会員数76名。月例会、需要セミナー、営業マン教育、運動会を行った。今年の目標は料金改訂問題と労働問題に。
- 14.東京写真製版若葉会
20周年記念行事、経営セミナー等を行った。一層親睦を計ってゆきたい。
- 15.千代田印刷人新世会
月例会、チャリティ観劇会、コミュニケ旅行、ファミリーサークル等を行った。観劇会は重症身障者の保母200名を集め、収益金を社会福祉施設に寄附した。
- 16.名古屋而立会
15周年記念行事を行った。設立当初の初心にかえて会運営を考えたい。
- 17.佐世保印刷若汐会
印刷工業組合と接触して体質を変えてゆきたい。
- 18.熊本印刷緑友会
工業組合との関係が問題。
- 19.印刷同友会
定例集会、自由集会、自主集会を通じて活動している。経営に関する基本的勉強も行ってゆきたい。会

員間の年令ギャップが問題。工組とは関係なく活動。

この後、新加入グループとして愛媛印刷人青年会と上小印刷若獅子会が紹介されるとともに、オブザーバーとして札幌緑友会が紹介された。更にこの3グループの新規加入が承認された。又、オブザーバーとして日本青年会議所印刷部会も紹介された。(退会グループ秋田昭年会、群馬緑友会、活字鳳友会)

■議事

筒井常任幹事が議長に選出され、直ちに議事に入った。議題は次の4つである。

1. 昭和48年度事業報告 (幹事長若山晃一氏)
2. 同 決算報告 (会計幹事岩田宗雄氏)
会計監査報告 (監事新村敏明氏)
3. 昭和49年度事業計画 (幹事長若山晃一氏)
4. 同 予算案 (会計幹事岩田宗雄氏)

議案の内容は別紙通り。全議題が提案通り可決された。

■次期総会・大会

〈総会〉開催地の決定発表が若山晃一幹事長からされ、開催地を代表して福島印刷彩友会の山川章氏が挨拶をした。

〈大会〉第17回大会が予定されている下関青年印刷人緑友会の横山博氏から挨拶があり大会への参加を要請した。

■全国印刷緑友会の国際ネームを JAPAN YOUNG PRINTERS ASSOCIATION (JYPA) とすることが若山幹事長から提案され、これを承認した。

■閉会の辞を丸谷慶二郎氏 (仙台刷親会) が述べて全ての行事を終えた。

■なお昭和49年度事業計画の中で、補足的に説明された項目を次に列記する。

1. 第17回全国大会のテーマは「心と物の調和を求めて」とすること。さらに3分科会を設けて討論を徹底させ大会を成功に導くこと、又エキスカッションも実施されることになっている。
2. 東日本地区大会で役員改選を行なう予定。その時にできなければ臨時総会を開催する。
3. 「緑友だより」の発行は千代田印刷人新世会で行う。
4. 各地区に青年印刷人組織があるかどうかのアンケートを行うなどして、未組織メンバーの加入促進を計る。
5. 日本青年会議所印刷部会との交流、印刷技術協会への協力、全印工連との接触なども活発に行うこと。

(尚、講演の記事については次号に掲載)
報告 印刷同友会 中津川 泰三

昭和48年度事業報告 決算報告

昭和49年度事業計画 予算

昭和48年度事業報告

1. 第16回 定期総会〈千代田印刷人新世会〉
昭和48年4月21日 東京・京王プラザ
(1) 議題 47年度事業報告および事業計画、決算報告と予算案を承認、可決。
役員改選 幹事等役員を改選、丸谷幹事長に代り、若山新幹事長就任。
2. 臨時総会
昭和48年6月2日 北九州・ホテルニュー田川
議題 (1) 綱領について
(2) 会則変更の件
(3) 会費の件
(4) 会員拡大の件
(5)(6) 予算・事業計画を審議
(7) 緑友会本年度テーマについて
(8) 第17回全国大会開催地について
(9) 第4回西日本地区大会開催地について
3. 第3回 西日本地区大会〈北九州Y Pクラブ〉
昭和48年6月2～3日 北九州・ホテルニュー田川
記念講演
分科会 (1) 価格問題 (2) 週休2日制にどう取組むか
(3) 将来の印刷界の展望について、情報交換、諸問題の討議
4. 第16回 全国大会〈長野青年印刷人緑友会〉
昭和48年9月1～2日 長野フジタ斑尾高原ホテル
大会式典
分科会 業態別の分科会方式をとり、統一テーマのもとにこれからの企業の在り方について語るという新しい試みで行なわれた。
5. 全国セミナー
昭和48年2月16日 東京・経団連会館
テーマ 「これからの日本」
(作家・小松左京氏)
「ことしの経済予測」
(経済企画庁・内野達郎氏)
「これからの印刷業」
(日本印刷技術協会・塚田益男氏)
6. 機関紙 「緑友だより」の発刊
(第28号より第31号)

昭和48年度決算報告

(昭和48年4月1日～昭和49年3月31日)
全国印刷緑友会

収入の部

科 目	金 額	摘 要
前期繰越金	83,498	
47年度会費収入	80,000	
48年度会費収入	890,000	24グループ
入会金	20,000	愛媛印刷人青年会入会金
別途会費	13,200	愛媛印刷人青年会費
利息	465	
常任幹事会幹事負担	20,000	
雑収入	20,619	
合 計	1,127,782	

支出の部

科 目	金 額	摘 要
總會補助金	100,000	
西日本大会補助金	100,000	
長野大会補助金	200,000	47年度分1回(30,175)
緑友だより発行費	190,175	48年度分4回(160,000)
通信・送料	9,285	
会議費	179,450	常任幹事会7回(内3/16)
慶弔費	5,000	常任幹事会分45,000(含)
印刷代	11,400	
雑費	27,400	
事務費	6,500	
幹事長出張費	100,000	
小 計	929,210	
次期繰越金	198,572	(内48年度分3グループ) 未収分67,680
合 計	1,127,782	

会計幹事 名古屋而立会 岩田宗雄
会計監査 千代田印刷人新世会 新村敏明

昭和49年度事業計画

- 第17回定期総会の開催
5月25日
東京・日比谷松本楼
- 第4回西日本地区大会の開催
6月8～9日
佐世保・佐世保印刷若汐会
- 第17回全国大会の開催
9月7～8日
下関・下関青年印刷人緑友会
- 緑友会セミナーまたは研修会・見学会の開催
東日本地区
- 「緑友だより」の発行
- その他

昭和49年度予算

(昭和49年4月1日～昭和50年3月31日)
全国印刷緑友会

収入の部

科 目	金 額	摘 要
前期繰越金	198,572	
会費収入	916,320	25グループ
入会金	40,000	2グループ
新入会費	45,600	
合 計	1,200,492	

支出の部

科 目	金 額	摘 要
總會補助金	100,000	
西日本大会補助金	100,000	
緑友大会補助金	300,000	
緑友だより発行費	200,000	
通信費	20,000	
会議費	200,000	
慶弔費	10,000	
印刷代	15,000	
雑費	50,000	
予備費	105,492	
幹事長出張費	100,000	
合 計	1,200,492	

全国印刷緑友会 西日本地区大会佐世保で開く

第4回西日本地区大会が6月8日、9日の2日間にわたり佐世保市のホテル「松蔵」において開催された。今回のホストグループは、佐世保印刷若汐会（岡敏充幹事長）。今大会の特色は、これまでの分科会方式をやめ、全体会議方式を取ったことで、「緑友の昨日・今日・明日」をテーマに緑友のあり方について活発な討議が交わされた。第2日には、評論家松村剛氏の「中近東問題と日本の関係」と題する記念講演が行われた。

今大会に集まったのは、12グループ100人以上であり、他に千代田印刷人新世会オブザーバー1グループなどが参加した。

まず開会式は会場の3階大ホールにおいて午後1時より行なわれた。司会は佐世保印刷若汐会の西村茂生氏。同じく若汐会の松尾辰二郎の開会宣言で大会の幕は切って落とされた。続いて国家斉唱来賓およびグループ紹介などが行なわれた後、大会委員長岡敏充氏が「西日本の緑友の志が、ここ佐世保の地に集い、互に親睦を深めながら日ごろの研鑽の成果と、解決できない難問、さらには、深い思慮の中から生まれた疑問を、この場でぶっつけ合うことは、私ども若い印刷人にとっては何よりも貴重な体験であろうかと思えます。緑友は若い力の結果です。個々には弱い私達も、結果すれば強い力となります。会員相互の研鑽と親睦の場であることの基本的認識の上に立って、さらに一歩飛躍して外に向かっては堂々と自己主張をなしうる確固とした社会的地位を、今こそ確立せねばならない時ではないでしょうか」と挨拶した。

続いて若山晃一幹事長が「緑友も種々な流れをくぐ

りながら、今日一応緑友の精神と申しますか、姿が確認されてきましたが、全国の青年印刷人の組織である緑友の役割は何であつたらうか、また今私達に何ができるのか、じっくり考えてみたい」と、今大会のテーマを強調し、また積極的検討を要請する挨拶を行なった。

引き続き長崎県知事久保勘一氏佐世保市長辻一三氏、九州印刷協議会会長久野泰成氏、また新しく長崎県印刷工業組合理事長に就任した岩永正三氏の来賓祝辞が行なわれた。そして記念撮影をはさみ2時15分から討論会に入った。

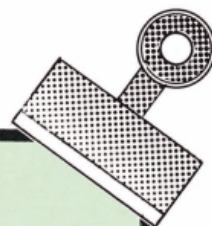
従来の分科会方式をやめ、全体会議での討論に切り替えただけに意欲的に「緑友の昨日・今日・明日」というテーマを掘り下げようという姿勢。パネルディスカッション形式を採って、まず「緑友の昨日」について元全国緑友会幹事長白石豊氏、「緑友の今日」について現若山幹事長「緑友の明日」については神戸印刷若人会高木保二氏、北九州YPクラブ渡辺守将氏、大会委員長の岡敏充氏が意見を述べ、その後それに対する質疑応答という形で討論に入った。大きな転換の時期にあるという点ではほぼ共通の認識のもとに立ち、活発な議論がたたかわされた。

「全国組織として現実的な力を持ち業界に貢献すべきではないか」「いや、もっと地区に密着して裸と裸のつきあい、親睦を中心に据えるべきだ」といった緑友会のあり方や、また「現在の印刷業界はこの急テンポに変化している社会に対応しているのか」とか「人材不足に対してどういう対策を立てるか」といった突っ込んだ問題にまで展開、定刻の5時を大きくオーバーして5時半に終了した。また6時からは懇親パーティが行なわれ、真剣な討論会とは打って変わったごやかな雰囲気のもとに一時を過ごした。

(報告 千代田印刷新世会 山口)



ホテル「松蔵」にて



第17回全国印刷緑友会 下関大会

昭和49年9月7日・8日

テーマ

「心と物の調和を求めて」

分科会テーマ

1. 節約時代と印刷企業
2. 社員の働きがいについて
3. 全国印刷緑友会の役割

※講師・岩岡敏志氏ほか

下関青年印刷人緑友会が主管として開催の第17回全国印刷緑友会下関大会は、9月7日・8日の開催を目指して私共会員一同着々とその準備に邁進しスケジュールの概要が下記の通り決定いたしました。各グループの幹事長におかれましては、どうか以上のテーマ・及び分科会等にご留意いただいてグループの会員の皆様に多数のご参加を呼びかけていただきます様に宜しくお取計らい下さいますようお願い申し上げます。

第17回全国印刷緑友会下関大会
実行委員長 横山 博

スケジュール

第1日

9月7日(土)	登録・受付	9:00~10:00
	大会式典	10:00~10:40
	記念講演	10:40~12:10
	記念撮影	12:10~12:30
	昼食	12:30~13:30
	分科会 (3分科会)	13:30~16:30
	休憩	16:30~17:30
	懇親会	17:30~20:00

第2日

9月8日(日)	朝食	7:00~8:30
	分科会報告	9:00~9:30
	エキスカージョン	9:45~15:30
	(関門海峡・赤間神宮・火の山・東行庵・関門橋・関門トンネル)	
	解散	15:30下関駅前

※解散後、別に秋芳洞観光プランもあります。



注目したい コミュニケーション旅行

千代田印刷人新世会（加藤純男幹事長）では今年度の事業計画に取り上げられた全国印刷緑友会との交流を積極的に推進する中で、去る5月11日・12日にコミュニケーション旅行をうわさの仙台印刷団地の見学を柱に仙台刷親会との親しい交流を試みました。参加会員は20名、1万6500坪という広々とした仙台印刷団地を見学して新世会はここで団地組合の「誠意と団結の精神」をこの目で確かめました。

同地協同組合の中で27社の企業は各々が営業活動生産を行っているのですが、各々が設備したのではメリットのないもの（全自動鑄造機、コールドタイプ、カラスキャナー等）を共同作業で行っている。協同組合事業として組合金融、共同購入、従業員住宅等を行っている。特に各社とも作業の工程管理、原価管理を

しっかりと行っていることは協同組合組織の指導であり、我々の構造改善事業を顧みる時、そのお互いの信頼の上に立った勇気と実行力を仙台印刷団地に見て大変意義深いものであった。仙台刷親会との交流は、懇親会と2日目の松島遊覧によって行われ、緑友同志の友情が固く結ばれた。特に刷親会の会員の方々が各々車を用意して8台の車に分乗して松島、塩釜めぐりを見物させて戴いたことは永く心に残るものであった。我々新世会はこのコミュニケーション旅行を通じて仙台刷親会の情熱的かつ精力的な歓迎をうけて真の緑友の精神を見て感激しました。仙台刷親会会長をはじめ各会員の甚大なご手配で無事完了でき本当に嬉しく思い重ねて厚く御礼申し上げます。

（報告 千代田印刷人新世会 中村）

全国印刷緑友会会員名簿

グループ名	代表者名	人員	〒	事務局所在地	電話	幹事長会社電話
山形印刷研修会	高橋 孝一	42	999-31	山形県上市市二日町田中2-14	(印)高洋業印刷所	02367(2)0337 02367(2)0337
仙台刷親会	亀岡 勇	48	983	仙台市伊在白山仙台印刷団地	三慶印刷(株)	0222(88)5841 0222(88)5841
茨城緑友会	小林 十三	27	310	水戸市備前町5-37	二鶴堂印刷所	0292(21)2476 0272(21)2476
神奈川正和会	水谷 基也	20	233	横浜市南区井土ヶ谷中町8	明光印刷(株)	045(714)3133 045(714)3133
文京緑友会	稚橋 靖夫	58	112	東京都文京区大塚4-39-13	文京印刷会社	03(946)4455 03(813)4091
東京写真製版若葉会	広橋 裕介	49	101	東京都千代田区三崎町2-10-11	製版会館	03(261)1117 03(255)6761
千代田印刷人新世会	加藤 純男	42	101	東京都千代田区神田錦町3-2	千代田印刷会館	03(291)2580 03(261)8281
ぎふ印刷翠陽クラブ	林 伸好	40	500	岐阜市西野町2-14	舟橋印刷(株)	0582(64)0171 0582(64)0171
名古屋而立会	吉田 秀雄	45	461	名古屋市中区高岳町2-2	愛知県印刷工組	052(971)4870 052(261)9321
新潟印刷新世会	渋谷 徹夫	27	950	新潟市出来島244	(株)新潟活版所	0252(44)4195 0252(44)4195
長野青年印刷人緑友会	飯田 範夫	39	380	長野市七瀬中町212	愛知県印刷会館内	0262(28)3150 0262(34)2831
大阪青年印刷人クラブ	作道 亮雄	64	541	大阪市東区淡路町1-7	印刷之世界社	06(202)4951 06(94)2525
大阪二世会	尾崎 彰	14	540	大阪市東区内本町1-43	錦 靖 社	06(942)5256 06(942)5256
神戸印刷若人会	高木 保二	43	650	神戸市生田区下山手通5-21	兵庫県印刷工組	078(371)3857 078(575)0354
下関青年印刷人緑友会	横山 博	25	951	下関市南部町8-6	早瀬印刷(株)	0832(23)6226 0832(23)6226
北九州Y Pクラブ	渡辺 守将	25	803	北九州市小倉北区東港町7-8	南陽堂商店	093(571)0431 093(471)2111
久留米印刷緑友会	川原 弘	22	830	久留米市瀬下町38	中央印刷(株)	09422(3)0388 09422(3)0388
福岡印刷若葉会	八尋 弘文	30	810	福岡市中央区舞鶴2丁目2-11 タサカビル32	九州印刷文化社	092(781)7766 092(76)2166
佐世保印刷若汐会	岡 敏光	10	857	佐世保市万徳町1-20	港 印 刷	0956(24)4591 0956(24)4591
福島印刷彩友会	山川 章	30	960	福島市荒町5-36	山川印刷社	0245(23)3304 0245(23)3304
東京プロセス製版青樹会	小野瀬 洋一	(20)	101	東京都千代田区神田淡路町2-27	プロセス製版会社	03(251)3229 03(260)1226
佐賀県印刷若楠会	児玉 好弘	20	840	佐賀市神野西3-4-16	佐賀県印刷工組	09522(3)2995 09522(3)4470
愛媛印刷人青年会	岡田 紀男	20	790	松山市大手町2-7-5	愛媛印刷工組内	0899(21)0932 0982(21)7151
上小印刷若獅子会	田辺 広太郎	16	386	長野県上田市常田2-13	田辺印刷(株)	02682(2)0680 02682(2)1492
熊本印刷緑友会	藤井 宏樹	17	860	熊本市桜島4-4	熊本県印刷工組	0963(53)0656 0963(54)4191

事務局 東京都杉並区和田1-29-11 日本印刷技術協会内 〒166 ☎(03)383-3111

編集だより

雨の降るうっ陶しいある日、ドアが開き、こんにちわーと明るい声が出て、私が所属する千代田印刷人新世会の幹事打合会の部屋に、例によってニコニコしながら先輩の筒井氏が入って来た。そして「俺あたっちゃったよ」と言って笑って居た。一同何が当たったのかと聞くと、いや実は全国印刷緑友会機関誌の「緑友だより」を今後1年間編集、発行の任務が抽せんで当たったとのことであった。その話を聞いて幹事長以下幹事一同お喜び、理由は簡単、全国の緑友に紙上対話が出きるわと言うことで早速編集者を決定し、その役が私に回って来た訳です。

去る5月に第17回定期総会が開かれ、若山幹事長が所信を述べたなかで、次のような言葉があった。不況、賃上げ、過当競争など、企業の大小を問わず幾多の困難が続いているが我々青年印刷人は今こそ組織を生か

してやるべきことがある。会をもち情報交換するだけでも目的の一環を果している。新年度は会員の拡大を方針として打出した。

全国緑友は文字が示す通り友の会でありそれにはやはり広がりと内容がなければならない、同じ若い世代にあり、そして同業に携わる我々としては機会あるごとに各グループ間の交流、より多くの仲間と接触を持ち、人を知り自分を知ってもらい社交の場を広めて行くことこそが緑友の発展につながると思う。すでに第17回下関大会のテーマとスケジュールも決定しております。

テーマは「心と物の調和を求めて」とありますが、参加することにより人と人との協調の場も多いにあると思われまのでより多くの人のご参加を待っています。

(千代田印刷人新世会 小林)